

## 建築学科

## 建築・インテリア入門

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	小池和仁			実務 経験	有	職種	建築設計				

## 授業概要

建築・インテリアの概念および建築倫理などについて幅広く学習する。

## 到達目標

幅広い基礎知識習得として、次の4点を到達目標とする。①世界の建築についての概要がわかる。②身体寸法と空間寸法について把握できる。③各種の空間と建築・インテリアの関わりがわかる。④建築の環境、工法、材料などの基本がわかる。

## 授業方法

講義と演習を中心に授業を進め、理解度を深める。講義では、各单元が実務に必要になるか意識しながら進める。演習では、授業で解説して基本問題について解き、さらに応用問題に取り組む。

## 成績評価方法

授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する。

## 履修上の注意

集中して取り組み、授業ノートを必ずとること。小テストを実施するので毎回の理解度を確認して、予習・復習を怠らないこと。出席は自己管理し出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上の出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。

## 教科書教材

はじめて学ぶ住居学学芸出版社

回数	授業計画
第1回	授業ガイド、世界の建築-1 建築とは何か、概要を理解する。
第2回	世界の建築-2 世界の建築の概要について理解する。
第3回	建築の基本 西洋建築 西洋建築の概要について理解する。

## 建築学科

## 建築・インテリア入門

第4回	建築の基本 日本建築 日本建築の概要について理解する。
第5回	建築の基本 近代建築 近代建築の概要について理解する。
第6回	建築の基本 現代建築 現代建築の概要について理解する。
第7回	身体寸法と空間寸法 身体寸法と空間寸法を理解する。
第8回	住まいとしての建築とインテリア 住まいとしての建築とインテリアについて理解する。
第9回	商業としての建築とインテリア 商業としての建築とインテリアについて理解する。
第10回	公共建築としての建築とインテリア 公共建築としての建築とインテリアについて理解する。
第11回	建築の地域、気候、場所 建築の地域、気候、場所について理解する。
第12回	建築の環境、照明、色彩、音 建築の環境、照明、色彩、音について理解する。
第13回	建築の技術基礎(種別、工法) 建築の技術基礎(種別、工法)について理解する。
第14回	建築の技術基礎(材料) 建築の技術基礎(材料)について理解する。
第15回	総まとめ 事例検証と全体のまとめ。